「Co-Design Challenge 2024」
選定事業者・選定事業概要について

別紙

「Co-Design Challenge」プログラムに選定された事業は以下のとおりです。

※代表機関名50音順
※下線は中小企業

	タイトル	選定事業者
①	WOOD＆DESIGN ～「森と木とデザイン」を主軸に、「椅子」製作を通じた地域の課題解決～	旭川家具工業協同組合（代表） 株式会社カンディハウス
②	宇宙ロケットアップサイクルプロジェクト 『&SPACE PROJECT』	ADDReC株式会社（代表） 株式会社釧路製作所、株式会社五明、得地ファニチャ工業株式会社、株式会社人間、株式会社人と音色、リーフデザインパーク株式会社、株式会社DOKASEN、株式会社SATOKEN、11株式会社
③	未利用木竹材を活用した 森林・地域を元気にするごみ箱	株式会社折兼（代表） 株式会社エイト日本技術開発、株式会社テラモト、株式会社那賀ウッド、パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社
④	これからの「サインスタンド」をデザインする ～災害廃材を活用した循環型ものづくり～	株式会社金森合金（代表）
⑤	ホタテの廃棄貝殻から生まれたベンチ 「HOTABENCH | ホタベンチ」	甲子化学工業株式会社（代表） 清水建設株式会社
⑥	軽量・高強度で多彩なデザイン設計が可能な古紙から生まれる「展示台」	一般社団法人サスティナブルジェネレーション（代表） 株式会社アクラム、株式会社高木包装、株式会社パックインタカギ
⑦	これからの「信楽」をデザインする ～リサイクル資源とデジタル技術による陶芸文化の創造～	信楽陶器工業協同組合（代表） 丸滋製陶株式会社、明山陶業株式会社
⑧	作り手と使い手が共創し、思い出が持続するスツール	一般社団法人Design Week Kyoto 実行委員会（代表） 有限会社三葉商事、株式会社溝川
⑨	これからの「椅子」をデザインする ～一枚板から作る歩溜まり99%の椅子～	株式会社ドッツアンドラインズ（代表） 熊倉シャーリング有限会社
⑩	端材と廃材を活用した中庭スツールとテーブル ～LIVE!SM（ライブイズム） 生きるが、醸す～	株式会社友安製作所（代表）
⑪	山並みの景色を「切り取り」届ける、額縁工房の家具作り	特定非営利活動法人府中ノアンテナ（代表） 伝統工芸株式会社

WOOD＆DESIGN
～「森と木とデザイン」を主軸に、「椅子」製作を通じた地域の課題解決～

代表企業・団体：旭川家具工業協同組合
協力企業・団体：株式会社カンディハウス

事業内容（物品）

旭川家具工業協同組合は、北海道旭川市に本拠地を置く組織で、大阪・関西万博への「椅子」の貸与を通じて、地域の家具産業の発展と品質向上を目指しています。

当組合は、1990年から3年ごとに開催される「国際家具デザインコンペティション旭川」（IFDA）を通じて、地域のデザイン意識を高め、国際的な視点を取り入れた活動を展開しています。IFDAの入賞作品や応募作品を製品化し、北海道産木材の活用を促進しています。特に近年では、地域材の利用率を向上させ、持続可能な素材と製法の研究に力を入れています。

事業内容（体験企画）

北海道旭川市

体験企画では、旭川家具工業協同組合が中心となり、万博会期中に「Meet up Furniture Asahikawa」を開催します。このイベントでは、20箇所のオープンファクトリーやものづくりの現場を知るバスツアーを実施します。また、旭川デザインセンターにて木工体験ワークショップを開催し、地域材を活用した家具製作を体験できます。

これにより、参加者は家具製作のプロセスを実際に見学・体験し、地域の森林資源と製造技術の連携を深く理解する機会を得ます。

宇宙ロケットアップサイクルプロジェクト『&SPACE PROJECT』

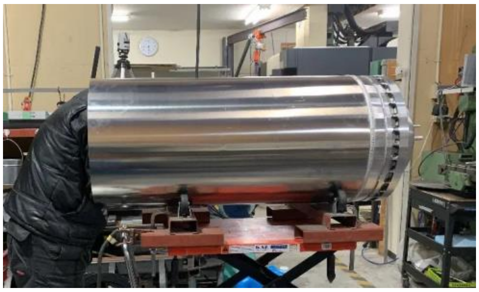
代表企業・団体：ADDReC株式会社
協力企業・団体：株式会社釧路製作所、株式会社五明、得地ファニチャ工業株式会社、株式会社人間、株式会社人と音色、リーフデザインパーク株式会社、株式会社DOKASEN、株式会社SATOKEN、11株式会社

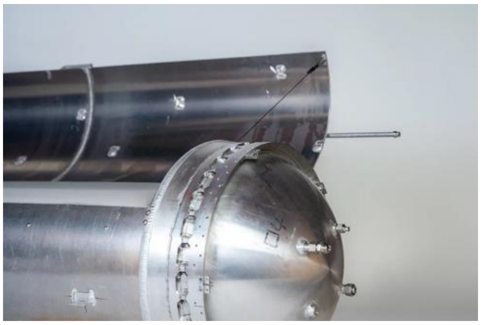
事業内容（物品）

&SPACE PROJECTでは、宇宙ロケットの開発廃材の試験用燃料タンクをリメイクしたアップサイクル家具『宇宙タンクベンチ』を貸与いたします。
宇宙産業が活発な北海道を舞台に、道内のものづくり企業や道内外のクリエイターが力をあわせ、宇宙をもっと身近に感じられるプロダクトを開発。宇宙ビジネスが盛り上がる現代における、新しい産業の創出を目指しています。

事業内容（体験企画）

北海道道東地域（釧路市、大樹町など）





北海道の中で特に豊かな自然と文化が息づく道東エリアは、宇宙産業が活発な地域としても注目を集めています。今回ご提供する宇宙タンクベンチは、元となるロケット廃材の提供から、加工・組み立てまで、道東エリアの各メーカーがそれぞれ協力して作ります。
体験ツアーでは同エリアでの自然体験・文化体験を提供し、道東エリアの魅力やポテンシャルを届けることを目指します。

未利用木竹材を活用した
森林・地域を元気にするごみ箱

代表企業・団体：株式会社折兼
協力企業・団体：株式会社エイト日本技術開発、株式会社テラモト、
株式会社那賀ウッド、
パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社

事業内容（物品）

　株式会社折兼では、「未利用木竹材を活用した森林・地域を元気にするごみ箱」を貸与します。
　日本は国土の約2/3が森林の世界有数の森林国ですが、近年は山間地域の過疎化・高齢化などにより手入れができず荒廃が進む傾向が見られます。
　また、プラスチックごみ問題や気候変動対策の観点から、化石燃料由来の材料から循環可能な自然素材への置き換えが求められています。
　多様な事業者・地場産業と連携し、木や竹を活用して山の手入れを進めることにより、森林再生・地域活性化をはかるとともに循環型社会の実現を目指します。

事業内容（体験企画）

徳島県那賀郡那賀町、阿南市

　森林率95%と古くから林業が盛んな徳島県那賀町とかつてタケノコ生産量全国１位の徳島県阿南市。
　大阪・関西万博に提供するごみ箱の原材料の生産地において、環境省の自然共生サイトにも選定された山林でのアクティビティー、工場見学、杉製のSUPボード体験など森林や自然を楽しみながら学ぶ「森林まるごと体験ツアー」を企画します。（橋本林業、阿波たけのこ農園、もみじ川温泉と連携）
　自然豊かな徳島県における森林資源を活用したモノづくりや体験を通じて、地域の山・川・海の自然環境や産業・伝統・文化の魅力を伝えることを目指します。

これからの「サインスタンド」をデザインする
～災害廃材を活用した循環型ものづくり～

代表企業・団体：株式会社金森合金
協力企業・団体：　　—

事業内容（物品）

創業1714年の株式会社金森合金は、地域の金属廃材をマイクロサイクルする循環型ものづくりを継承しています。
2024年1月1日に発生した能登半島地震の災害廃材、地域で産業廃棄物となる金属廃材を回収し、サインスタンドを製作します。
この金属精錬にはロケット部品素材を供給する技術を活用します。
サインスタンドには「万博会場での案内役」と「記憶・刻印」の二つの意味を込めることで、廃材を資源化する物質としての変化だけではなく、記憶は紡がれ、人々の記憶を呼び起こす変化の象徴となるような製品を開発します。

事業内容（体験企画）

石川県金沢市

アルミサッシ等の建築廃材、アルミフライパン等の調理器具、アルミ缶等の非鉄金属素材を回収します。
アルミ素材の場合は約800℃の高温で溶解・精錬し、モダンなプレートやカトラリーレスト、菓子切りを製造します。

鋳物工場で職人と共に一緒に製作したり、好きな商品を選んで名入れ刻印したり、ホテルのダイニングレストランで実際に試したりと「食と工芸」を体感する石川・金沢ならではの体験を開催します。
ぜひ、工場来訪時に廃材をご持参ください。あなたの廃材が、次の体験者への資源へと生まれ変わります。

ホタテの廃棄貝殻から生まれたベンチ「HOTABENCH｜ホタベンチ」

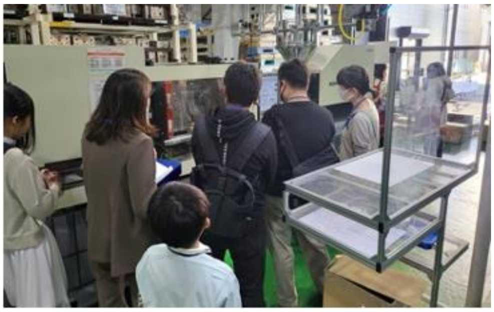
代表企業・団体：甲子化学工業株式会社
協力企業・団体：清水建設株式会社

事業内容（物品）

甲子化学工業株式会社では、廃棄されたホタテ貝殻を活用したサステナブルなベンチ「HOTABENCH」を貸与します。日本では、年間約20万トン以上ものホタテの貝殻が、一部しか活用されずに廃棄されています。私たちは、廃棄物のリサイクル技術を通じて、廃棄貝殻から作った環境配慮型の新素材「SHELLTEC」を開発。廃棄貝殻とコンクリートを混錬し、環境配慮型のベンチを製作します。リサイクルによって生み出されるテクスチャと、ホタテのようなシルエットを通じて、見る人・座る人に新たな循環資源の未来を提案します。

事業内容（体験企画）

大阪府東大阪市
東京都江東区
北海道宗谷郡猿払村



「HOTABENCH」の製造プロセスの学習及び、その一部を体験できる教育ツアーを実施します。甲子化学工業株式会社では、主に原材料となる「SHELLTEC」の製造や量産機械を用いた製造体験のほか、清水建設株式会社では、ものづくりの現場体験として「プリント技術の紹介」及び、プロセスの一部を体験いただけます。さらに、北海道猿払村の公園内に設置される「HOTABENCH」の見学を実施します。

軽量・高強度で多彩なデザイン設計が可能な古紙から生まれる「展示台」

代表企業・団体：一般社団法人サスティナブルジェネレーション
協力企業・団体：株式会社アクラム、株式会社高木包装、
株式会社パックインタカギ

事業内容（物品）

　一般社団法人サスティナブルジェネレーションでは、古紙から生まれる「展示台」を貸与します。現在日本では展示用のアクリルや木製什器は高額で、自身での施工が難しくリサイクルできないという課題があります。そこで私たちはリサイクル可能な段ボールの軽さはそのままで、設計により耐久性を確保した、「軽量・高強度・組立簡単・リユースリサイクルできて、鮮明なダイレクト印刷・多彩なデザイン設計が可能な展示台」を開発します。
　ニーズに応えつつ新しい時代を感じさせる展示台。使い捨てではなく、持ち運びや保管も簡単で最終的にはリサイクルしてまた段ボールに戻るという持続可能性を存分に活用していきます。

事業内容（体験企画）

奈良県葛城市

　奈良県葛城市にて、サステナブルな未来への紙の可能性を体験いただくことを目的に、段ボールケースの製造工場見学・開発した展示台の簡単な組み立て体験・段ボール端材の活用方法としてのSDKidsの製作体験等を実施します。
また、「相撲発祥の地」である葛城市において、大阪・関西万博に貸与する展示台と同じくUVインクジェットプリンター、カッティングマシンで製作した紙製対戦型遊具『段DAN相撲』（巨大トントン相撲）体験なども行います。

これからの「信楽」をデザインする
～リサイクル資源とデジタル技術による陶芸文化の創造～

代表企業・団体：信楽陶器工業協同組合
協力企業・団体：丸滋製陶株式会社、明山陶業株式会社

事業内容（物品）

信楽焼産地の地域連携により、窯業系廃棄物のリサイクル資源化と琵琶湖の生き物をモチーフにデジタル技術を活用し、多様な対話や文化の共創に繋がるアップサイクル製品として、陶製テーブルスツールを開発し、万博会場に提供します。
提供物品は産地組合が陶土を開発し、庭園陶器や傘立て、手水鉢等の大物製品を得意とする丸滋製陶株式会社が製造します。
この事業により、産地の課題でもある資源の有効活用、製造エネルギーの削減や最新技術の活用にも繋がり、未来世代へ継承するための信楽焼産地の魅力ある陶芸文化の創造を目指します。

事業内容（体験企画）

滋賀県甲賀市信楽町

日本遺産の日本六古窯のひとつ信楽焼の窯元で、陶人形や食器、花器を得意とする明山陶業株式会社の実施する陶芸体験をもとに、万博会場の提供物品に使用する産地組合が開発・製造した大物陶土を活用するとともに、加飾に活用したデジタル技術による成形型や模様型を使い、アクセサリー等の小物製品の創作体験を提供します。
また、万博会場に陶製テーブルスツールを提供する丸滋製陶株式会社の見学ツアーやレリーフの拓本体験も同時に実施します。
今回の取組により、未来世代へ継承するための信楽焼産地の魅力ある陶芸文化の発信・提供を目指します。

作り手と使い手が共創し、思い出が持続するスツール

代表企業・団体：一般社団法人Design Week Kyoto 実行委員会
協力企業・団体：有限会社三葉商事、株式会社溝川

事業内容（物品）

古民家から出る古材や家具の材木など、思い出とオリジナリティが詰まった材料を用いたスツール型の椅子です。

座面には、京都府北部・丹後地域で生産される丹後ちりめんの生産工程から出る残布を用いたクッションを載せます。クッションには用いた古材の思い出や使い手の個性などの背景にちなんだ絵柄の刺繍を施します。数種類のクッションを用意し、季節等に応じて乗せ替えることが可能です。

事業内容（体験企画）

京都府北部地域（舞鶴・京丹後）

製作現場の訪問・交流　※英語での対応も可能
スツールを構成する木部とクッション部分を製作する工場の現場を訪問し、プロセスや作り手の思いを感じていただきます。

製作技術の体験
木や刺繍など、製作技術の特徴などを体験できるワークショップを実施します。

地域の風土・背景の理解
製作現場の技術や作り手を生み出している地域の背景を理解できる社寺や自然などを訪問いただきます。

これからの「椅子」をデザインする
～一枚板から作る歩溜まり99%の椅子～

代表企業・団体：<u>株式会社ドッツアンドラインズ</u>
協力企業・団体：<u>熊倉シャーリング有限会社</u>

事業内容（物品）

株式会社ドッツアンドラインズではこれからの「椅子」をデザインし燕三条広域で連携し製作した製品を大阪・関西万博へ貸与します。
現在日本では大量生産に伴う大量のブランク材の廃棄という社会課題があります。最もシンプルな形に原点回帰することにより大量生産の陰で捨てられているもの、捨てずに済むものを再確認、再考察する機会を提供することで、リサイクル以前に可能な限り廃棄材の発生を抑えるモノづくりの実現を目指します。

事業内容（体験企画）

新潟県燕市、三条市

モノづくりが盛んな新潟県燕市・三条市。
大阪・関西万博に提供する椅子を製作する際に使用する技術の発信、製作した背景や、燕三条地域の文化を楽しく知っていただくための「物品のミニチュアを作成する巡回体験ツアー」を企画します。（燕三条こうばの窓口企業と連携）
リサイクル以前に可能な限り廃棄材の発生を抑えるモノづくりの実現を目指すとともに、燕市・三条市のモノづくりから連なる総合的な魅力を伝えることを目指します。

端材と廃材を活用した中庭スツールとテーブル
～LIVE!SM（ライブイズム） 生きるが、醸す～

代表企業・団体：株式会社友安製作所
協力企業・団体：

事業内容（物品）

ものづくりの製造過程で出る端材。今まではリサイクルできるものはして、それでも廃棄しないといけないものは棄てているのが現状。「MOTTAINAI」という精神のもと、その端材を活かし、棄てるものに新たな価値を創造する中庭設備・備品を提供します。

LIVE!SMは、2023年にスタートした町工場の端材など、静物を生物に変換する実験プロジェクトで、初年度は、アートモニュメントを製作。その進化版としてプロダクト製作を今回実施予定。

素材は、革、金属、プラスチック、アクリルなどを想定。端材の収集方法としては、関西地区最大級の地域一体型オープンファクトリーイベントFactorISMに参加する83社の企業から募り、その素材が活用されている「まちこうば」に人々を誘う体験企画を同時に提案します。

事業内容（体験企画）

大阪府八尾市、堺市、門真市、東大阪市、柏原市、大阪市、高石市、和泉市、大東市、四條畷市、三重県名張市　等

ありふれた観光資源ではなく、地域特有の資源であるものづくりを「エンターテインメント」に捉えて普段は一般公開していない製造現場に潜入。特に、参画企業は、BtoB企業も多いため、まだ見ぬものづくりの世界に人々は感動を覚え、ここでしか体験できないプログラムを展開します。2025年には100社程度、参画企業を募る予定のため、各「こうば」ごとに違った切り口のものづくり体験、ものづくりエンターテインメントを堪能いただけます。

山並みの景色を「切り取り」届ける、額縁工房の家具作り

代表企業・団体：特定非営利活動法人府中ノアンテナ
協力企業・団体：伝統工芸株式会社

事業内容（物品）

　額縁工房の手仕事を駆使して、額縁のように美しいものになじむ椅子（スツール）を提供します。
　国内の額縁製造の規模は縮小し、さらには中山間地域の地元（府中市）は消滅可能性自治体にリスト入りしていて担い手が不足しています。
　この課題に対し、家具に額縁製造技術を転用させ、現代のライフスタイルに合わせて、絵を引き立てる額縁のように、脇役とし暮らしを支えるものづくりを実施しています。

事業内容（体験企画）

広島県府中市

　額縁作り＋額縁に納めたくなるような、美しい景色のある地域を体感するツアーを提供します。
　額縁づくりなどの体験や、ものづくりを育む山の景色の中に入り込む散策、山の幸を生かした食の体験などを検討しています。